

労災認定事例一覧表

お怪我された方	お怪我の内容	給付内容	ご感想
<p>建設業を営む代表者様の労災事例です。</p>	<p>トラックに木材を積み込む作業中、バランスを崩し荷台から転倒。腰を強打し骨折したため118日間の休業を余儀なくされました。</p>	<p><<労災の加入内容>> 労災特別加入、みらいふ労災共済の二つに加入。 給付基礎日額25,000円 ◎保険料・掛金合計⇒123,005円(年間) ◎休業補償合計⇒2,950,000円(給付基礎日額×休業118日(待機期間3日除く))</p> <p>【労災保険からの給付】 ◎医療費⇒労災から全額補償 ◎休業給付金⇒労災から2,360,000円を受給(特別支給金とあわせて基礎日額の80%を支給)</p> <p>代表者様は労災特別加入に加入されていたので労災申請したところ、医療費の全額が補償され、休業給付金として2,360,000円(待機期間を除く118日分)を受給されました。</p> <p>【みらいふ労災共済からの補償】 ◎みらいふ休業共済金⇒590,000円を受け取り</p> <p>労災の上乗せ保険である「みらいふ労災共済」にも加入されていたので、みらいふ労災共済より休業共済金590,000円(基礎日額の20%)を受けられました。</p>	<p>【労災保険とみらいふ労災共済で100%の補償】 特別加入にかかる年間保険料が100,375円にもかかわらず、医療費(治療)の全額と休業補償として2,360,000円(1日あたり20,000円 特別支給金含む)の給付を受け、さらにみらいふ労災共済(Ⅲ-A型に加入)の掛金も22,630円とわずかな金額で休業共済金590,000円を受け取ることができました。 補償の内容とともに、全額経費として処理できることにも代表者様は大変メリットを感じていらっしゃいました。</p>
<p>サービス業を営む代表者様の労災事例です。</p>	<p>会社の2階から1階へ書類をもって降りている際に、階段を踏み外し転倒、足首を複雑骨折したため約8カ月間の休業を余儀なくされました。</p>	<p>【労災保険からの給付】 ◎労災保険特別加入給付基礎日額25,000円の年間保険料⇒31,937円 ◎医療費⇒労災から全額補償 ◎休業給付金⇒労災から4,500,000円を受給(休業225日分、待機期間3日を除く)(特別支給金とあわせて給付基礎日額の80%)</p> <p>【みらいふ労災共済からの補償】 ◎みらいふ労災共済の特別加入給付基礎日額25,000円の年間掛金⇒4,288円 ◎みらいふ労災共済から休業共済金⇒1,125,000円を受け取り(給付基礎日額の20%)</p>	<p>【労災保険とみらいふ労災共済で100%の補償】 特別加入にかかる年間保険料が31,937円にもかかわらず、医療費(治療)の全額と休業補償として4,500,000円(1日あたり20,000円 特別支給金含む)の給付を受け、さらにみらいふ労災共済(Ⅲ-A型に加入)の掛金も4,288円とわずかな金額で休業共済金1,125,000円を受け取ることができました。 補償の内容とともに、これらの「みらいふ労災共済」掛金は全額「経費」として処理できることにも代表者様は大変メリットを感じていらっしゃいました。</p>
<p>ホテル業を営む代表者様の労災事例です。</p>	<p>ホテルレストランでの配膳作業中に転倒、右足首を骨折と靭帯の損傷をしたもの。6か月間の休業を余儀なくされました。</p>	<p>【労災保険からの給付】 ◎労災保険特別加入給付基礎日額25,000円の年間保険料⇒31,937円 ◎医療費⇒労災から全額補償 ◎休業給付金⇒労災から3,940,000円を受給(休業197日分、待機期間3日を除く)(特別支給金とあわせて給付基礎日額の80%)</p> <p>【みらいふ労災共済からの補償】 ◎みらいふ労災共済の特別加入給付基礎日額25,000円の年間掛金⇒4,288円 ◎みらいふ労災共済から休業共済金⇒985,000円を受け取り(給付基礎日額の20%)</p>	<p>【労災保険とみらいふ労災共済で100%の補償】 特別加入にかかる年間保険料が31,937円にもかかわらず、医療費(治療)の全額と休業補償として3,940,000円(1日あたり20,000円 特別支給金含む)の給付を受け、さらにみらいふ労災共済(Ⅲ-A型に加入)の掛金も4,288円とわずかな金額で休業共済金985,000円を受け取ることができました。 補償の内容とともに、これらの「みらいふ労災共済」掛金は全額「経費」として処理できることにも代表者様は大変メリットを感じていらっしゃいました。</p>